

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	ハッピーテラスキッズ国立ルーム		
○保護者評価実施期間	2025年11月4日 ～ 2025年11月30日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	48 (回答者数)	42
○従業者評価実施期間	2025年11月25日 ～ 2025年12月12日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4 (回答者数)	4
○事業者向け自己評価表作成日	2026年1月13日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	個別療育では、利用者に合わせた環境の配慮を行い、利用者が持っている力を十分に発揮できるようにしている。さらに目的に応じて同室の利用者同士が関わる機会を提供している。 集団療育は、就学に向けた年長の小集団や音楽に特化した歌あそびやリトミックのコースを設けている。	・利用者に合わせて担当スタッフ、支援内容、保護者同席等を配慮している。 ・アセスメントや保護者面談時に利用者の様子を伺い、好きなことや興味のあることを支援内容に取り入れている。 ・年長児は、音読や給食当番等の小学校生活で必要なスキルを身につけられる課題を設定している。	・利用者の興味関心を広げ、できることを増やせるよう支援してゆく。
2	毎回療育時にフィードバックを行い、保護者の方と話す時間を設けている。また、モニタリング以外にも必要に応じて面談を実施している。	・フィードバック時に子育てにおいての心配や悩みごと等を共有し、家庭できること等を伝えている。 ・保護者の方からのご希望に合わせて面談を実施する等、迅速な対応をしている。 ・幼稚園や保育園への見学を行い、利用者の様子を保護者の方に伝えている。	・ご家庭で困っている様子等があれば面談ができるようにスタッフから声がけを行う。 ・幼稚園や保育園への見学や連携を増やしてゆく。
3	当事業所のみならず、会社全体で児童発達から放課後等デイサービス、自立訓練、就労移行支援と切れ目のない支援を実施している。	将来像から逆算して『今、身に着けておくべきことが何なのか?』という視点で支援を行っている。	・事業所間で連携を行う。 ・放課後等デイサービスや自立訓練、就労移行支援のトレーニングを見学し、それぞれの事業所でのトレーニング内容や様子について保護者の方に伝えてゆく。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	事業所が2階にあるため来所時に階段を利用する必要がある。	・エレベーターがないため、階段の昇降が必要になる。 ・ベビーカー等を利用されている方は持って上がる必要がある。	・ベビーカーを運ぶ際は、引き続きスタッフが階段では持ち運びを行う。 ・必要に応じてスタッフが階段の下まで手をつないで降りる等、安全面により一層配慮してゆく。
2	言語聴覚士、理学療法士による専門的な支援を提供できない。	言語聴覚士、理学療法士のスタッフが在籍していない。	他機関での検査結果や助言を保護者の方に共有してもらい、療育時に反映させることを今後も行ってゆく。
3	事業所内の保護者向けのイベントが少ない。	・利用者に向けたイベントを開催しているが、保護者向けのイベント開催ができていない。	・保護者の方に希望を伺い、必要であればイベントや他の保護者と関わる機会を設定する。 ・ごきょうだいや小さいお子様と一緒に参加できるよう検討してゆく。 ・オンラインセミナー等、参加しやすい方法での実施を検討する。